

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-031

PDCA	事務事業名	中心市街地まちづくり支援事業	部課等名	市民経済部 経済課 商工担当	担当	太田	
					内線等	321	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 4. 商工業・サービス業 単位施策： (2) 接続可能な商業の振興 個別施策： ③中心市街地の商業の魅力創出					
	根拠法令等	半田市中心市街地まちづくり支援事業補助金交付要綱					
	対象・目的	まちづくりコーディネート機能を担う商工会議所のまちづくり推進事業と、商工会議所と中心市街地の3商店街及びクラシティが一体となり実施する賑わい創出事業に補助金を支出し、魅力ある市街地の形成と賑わいのあるまちづくりを目指す。					
	目的を達成するための手段・活動内容	まちづくり推進室、まんなかプロジェクトに係る事業費や、商業者による販売促進イベント、賑わい創出イベント等の実施に係る費用について補助金を支出し、中心市街地の活性化を支援する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①専門家業務日数	66.5	15.5	0	日	
		②コンサル委託(勉強会)日数		5	11	日	
		③					
		事業費	2,760	3,498	7,557	千円	
		人件費	2,541	2,538	3,123	千円	
		総事業費	5,301	6,036	10,680	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①歩行者・自転車通行量	実績値	7,359	6,658	6,858	人/日
			目標値	7,300	7,300	7,300	
		②	実績値				
			目標値				
		③	実績値				
目標値							
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
		B					
		商工会議所まちづくり推進室や地域の関係者と連携を図りながら、半田運河「CanalNight」やこうせい公園での「はんだ駅前フェスティバル」を企画し、まちの賑わいに寄与することができた。若い世代を中心市街地へ誘導するため、知多半田駅前ロータリーで地元高校生によるバンド、ダンスなどを開催し、はんだdeマルシェやクラシティへの誘客を促した。また、半田商工会議所が地域の商業者と進めていくまちづくりの指針となる半田市中心市街地活性化ビジョン策定の支援を行った。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
	今後のまちづくりは、平成30年度に半田商工会議所が策定した「半田市中心市街地活性化ビジョン」に沿って進めていく。特に、知多半田駅からJR半田駅間の区域においては、地域の若手商業者等から新たに提案された事業アイデアの実現を半田商工会議所と連携を図りながらサポートし、まちの魅力を創出していく。						
	令和元年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		①歩行者・自転車通行量	7,300		人/日		